

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と年間推進計画書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 室戸市立 吉良川小学校		校長	小松 良浩	教員数	12	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計	
		道徳教育推進教師	谷内 佳子	12	12		1	5	2(1)	12	2(1)	6	2(1)	11	1	9	1	55	7(2)	
研究テーマ		思いや考えを表現し、認め合い、学び合う児童の育成 ～友達との関わりを大切に、自己を見つめ、考えを深める授業実践を通して～																		
年度当初の学校の状況		到達目標				中間検証(下半期に向けての改善事項)						年度末(到達目標達成状況)								
<p>本校の児童は、道徳の授業に対して、自己を見つめ、友達との関わりの中で考えようとする姿が見られる。昨年度行った道徳意識調査における肯定的評価の割合は、①「道徳の勉強はすきだ」78.2%、②「道徳の授業では、他の人の考えを聞いたりしながら、自分のことについてよく考えている」94.5%であった。しかし、交流を通して得られた多様な意見について話し合い、さらに考えを深めたり広げたりすることが不十分である。</p> <p>家庭との連携について、『高知の道徳』を活用し、家庭での話題となるよう取り組んでいるが、意識調査③「家の人と道徳の話をしたり、『高知の道徳』を読んだりしている」50.9%で低い。</p>		<p>道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上</p> <p>①「道徳の勉強はすきだ」85%(+7p)以上</p> <p>②「家の人と道徳の話をしたり、『高知の道徳』を読んだりしている」60%(+10p)以上</p> <p>③「自分には、よいところがあると思う」85%(+5p)以上</p> <p>④「将来の夢や目標をもっている」88%(+3p)以上</p> <p>⑤「学校のきまりを守っている」85%(+4p)以上</p>																		
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)												指標達成状況の分析						
取組項目	取組の評価指標	5月～8月				中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)						達成状況		年度末評価					
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆研究推進委員会を定例化し、進捗管理を行う。(毎月1回以上)</li> <li>◆各学年の年間指導計画、別業に基づく取組の検証(3回以上)</li> <li>◆管理職または道徳教育推進教師が、毎週、全学級の道徳科の授業を参観する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳教育全体計画(別業)、各ブロックの道徳科年間指導計画(A年度)の作成 ※5月中旬に提出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科年間指導計画評価欄への記入(随時)</li> </ul> </li> <li>②管理職または道徳教育推進教師が全ての道徳科の授業を参観できる体制の構築</li> <li>③授業者と推進教師が、事前研→授業実施→事後研のサイクルにおいて、短時間で打ち合わせする時間の確保</li> <li>④児童の意識調査結果の協議・取組策の検討(研究推進委員会)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>①全体計画(別業)、年間指導計画の実質化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科年間指導計画評価欄への記入(随時)</li> </ul> </li> <li>②管理職または道徳教育推進教師による全道徳科の授業参観</li> <li>③授業者と推進教師による事前研→授業実施→事後研のサイクル化と授業の質の向上</li> <li>④児童の意識調査結果の協議・取組策の検討(研究推進委員会)</li> </ul>													
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳授業チェック【教師用】【児童用】を3.5以上にする。</li> <li>◆授業づくり講座(教材研究会・授業研究会)を2回行うに当たり、校内での事前研(教材分析・指導案検討会)を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業づくり講座(教材研究会)1回で講師訪問 ※公開</li> <li>②授業づくり講座に向けた事前研(教材分析・指導案検討会1回で講師招聘)</li> <li>③授業研究1回(6月 講師招聘)</li> <li>④道徳授業チェックシート(全教師・全児童)の結果分析及び授業改善策の検討</li> <li>⑤学習指導案、教具、ワークシート、板書写真等の整理・保管</li> <li>⑥他校(指定校)の公開授業への参加(2回、計2名)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業づくり講座(教材研究会1回・授業研究会2回) ※公開</li> <li>②授業づくり講座に向けた事前研(教材分析・指導案検討会1回、模擬授業・指導案検討会2回で講師招聘)</li> <li>③道徳授業チェックシートの結果分析及び授業改善策の検討</li> <li>④学習指導案、教具、ワークシート、板書写真等の整理・保管</li> <li>⑤四国小中学校/県道徳教育研究大会への参加(10月、全員)</li> </ul>													
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆評価の仕方を共有する。(学期1回)</li> <li>◆学期末の個人懇談で、学習状況や道徳性に係る成長の様子を保護者に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳ノート、ワークシート、授業記録(T-C)等を活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握→ブロック会で評価について検討</li> <li>②評価の仕方を校内で共有→学期末の個人懇談で保護者に伝える。(アンケートを実施して検証、改良を図る。)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳ノート、ワークシート、授業記録(T-C)等を活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握→ブロック会で評価について検討</li> <li>②通知表と指導要録への評価の仕方を校内で共有→学期末の個人懇談で保護者に伝える。(アンケートを実施して検証)</li> </ul>													
家庭・地域と連携した道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳参観日(全学級公開)を実施し、保護者参加率を60%以上にする。地域の方にも公開する。</li> <li>◆通信で取組・成果等を発信する。(毎月1回以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①参観日に、道徳の授業公開(各ブロック) <ul style="list-style-type: none"> <li>・『高知の道徳』を活用した懇談会の実施(各学級)</li> </ul> </li> <li>②『高知の道徳』に係る家庭での取組を行い、校内に掲示して紹介(p.6～子どもの心のメモリアル、p.16,17家庭で行う7つの取組等)</li> <li>③毎月の通信に、授業の様子や『高知の道徳』の内容を紹介し、家庭や地域に配布して啓発を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・返信欄を利用し、双方向でのやりとりを仕組む。</li> </ul> </li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>①全学級公開による道徳参観日の実施(2月)</li> <li>②『高知の道徳』に係る家庭での取組を行い、校内に掲示して紹介(p.16,17家庭で行う7つの取組、p.6～成長の記録等)</li> <li>③毎月の通信に、授業の様子や『高知の道徳』の内容を紹介し、家庭や地域に配布して啓発を図る。</li> </ul>													